

れんごう中越地協

第840号2014.11.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含む



連合新潟第24回年次大会開催

年度活動計画を満場一致確認する

連合運動の前進をめざし、働くことを軸とする安心社会を実現しよう



連合新潟第24回年次大会が、11月5日(水)午後10時、万代シルバーホテル(新潟市)で開催され、連合新潟15年度活動計画が満場一致で確認された。連合新潟年次大会には、県内各地から100名を超える代表議員・特別代表議員等集った。齋藤会長は大会にあたり、「連合は2年スパンで運動を進めており、組織拡大を最優先として『働くことを軸とする安心社会』に波及する大会とした」と述べ、「組織拡大を最優先に取り組みを」

と、「安心社会」実現に取り組み、社会運動としての『労働協』が進める2020年ビジョンに取り組み、連合の政策実現には「政治課題」が重要な取り組みとなる等4点を挨拶で述べた。来賓として連合本部安永副事務局長をはじめ新潟県や福祉団体等から挨拶がなされた。大会では、JAMから構成組織の会社再建



大会アピール

私たちは、本日の第24回年次大会で、第23回定期大会で確認した「2014年～2015年度活動方針」を補強する「連合新潟2015年度活動計画」を決定した。

いま、働く者や生活者は、依然として深刻な格差と貧困の問題に直面している。しかし、政府・与党は、働く者の暮らしの底上げをはかるどころか、「世界で一番ビジネスがしやすい環境」を作り上げるため、働く者を守る最低限のルールさえも破壊しようとしている。働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことを、断じて許すわけにはいかない。連合が提起する「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンに呼応し、全国の連合組合員と連帯して、労働者保護ルールを守りぬき取り組みを、さらに強化していく。

連合新潟は、これまで春季生活闘争や最低賃金の引上げに際する取り組みなど、構成組織・単組・地域協議会が一体となる活動を展開し、世論の喚起と働く者の声の結集をすすめてきた。引き続き、非正規労働者を含むすべての働く者の賃金・労働条件の底上げ、底支え、ワーク・ライフ・バランスの実現をめざし、取り組みを前進させなければならない。

いわゆる「ブラック企業」が横行する中、風通しのよい職場環境の整備や健全な労使関係の確立のためには、労働組合の果たす役割は大きく、その活躍が期待されている。「100万連合」の実現に向けた組織拡大・強化をすすめるとともに、働くことに関するルールを周知する取り組みの強化など、地域に根ざした顔の見える労働運動を展開する必要があります。

山積する課題解決のためにも、来年4月施行の統一地方自治選挙における、連合新潟推薦候補者の勝利が不可欠となる。各自治体選挙においても、連合が求める政策・制度の前進をめざし、連合の政治方針・推薦基準をふまへ、候補者の擁立・推薦とその当選に向け総力を挙げ取り組み。

「16万連合新潟」の実現、労働者保護ルール改善阻止、非正規を含めたすべての働く者のディーセント・ワークのために立ち上がり、全力で取り組んでいこう！

連合新潟・構成組織・単組・地域協議会がひとつになり、連合運動の前進をめざし、すべての働く者の連帯で、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう！

2014年11月5日
連合新潟第24回年次大会

14年度上半期の相談件数は213件

ながおかライフサポートセンター(矢島理事長)の14年度上半期の相談件数がまとめられた。

それによると、相談件数は213件(9月末)となり、昨年より89件少なくなっているとの事だ。どのような相談が寄せられているかだが、「こころ」や「家庭」に関する相談が多い。一部紹介する。

【こころ】

■20数年前に夫と長男が続けて自殺した。現在は次男と暮らしている。長男を自殺に追い込んだのは自分のせいだと思ってしまう。罪悪感に苛まれ、自分も夫や長男の所へ行こうと何度も思ったが、残される次男のことを思うと死ねなかつた。毎日が苦しく不安

【家庭】

■中学生の子供が一人いるがスマホばかりしている。学力が低下してきて進学できるか心配だ。子供が小学生の時に離婚、男手ひとつで育ててきた。情緒不安定でリストカットをしたこともあった。今後どのように接していけばいいか悩んでいる。

また、電力総連から統一地方選への対応の正取引委員会の審決案の内容と対応が報告された。また、全自交から秋葉区内のタクシ事業への支援に関連した報告と要請等の発言があり、引き続き支援対応を行っていく事などを確認し承認した。

また、電力総連から統一地方選への対応の発言があった。大会では1号議案「亀田郷土地改良区組合の加盟」が承認されたほか、15年度活動計画等が満場一致決定した。大会後には、交流懇親会が盛会に開催され大会が終了した。

でしかたがない。施設に障害1級の娘がいる。夫とは浮気が原因で離婚した。その前は夏に他界した。他の子供たちは独立している。気が付いたら自分一人になってしまった。人と会ったり話したりすることが億劫で苦しい。他人の目線や評価が気になつてしかたがない。孤独と不安で今にも押しつぶされそうだ。

■父は中学生の時に自殺。母は統合失調症で家族全員が巻き込まれ苦しんできた。母親や親戚から父親が死んだのはお前のせいだと責められた。相続や借金の返済、会社のストレスが重なり鬱病に罹った。精神障害者手帳を取得したものの今年に入ってから歩行困難となつてしまった。障害

■夫と子供2人の4人家族。夫が同僚の女性と浮気をして子供を作ってしまった。夫は会社をクビになった。離婚にあたり慰謝料・養育費・学資保険・家の名義変更などを話し合ったが義母が口をはさみ埒が明かない。家庭裁判所での調停について知りたい。

東蔵王2

《No.162》



副議長 田野吉昭

早いもので平成26年も残り1ヶ月を切ろうとしている。また11月に入り、一段と寒さも増し皆さん冬を迎える準備もできていますでしょうか?▼普段は食にたいする感心はないもの、旬な食べ物を食べると食を感ずることがある。その中でも「食欲の秋」というのは楽しい時期である。ピタミンをたくさん含んでいる柿やさつまいもや里芋、そして疲労回復に役立つりんごや秋刀魚そして栗など多くの旬な食べ物がある▼なかの本で読んだことがある

が、日本は四方を海に囲われており、春夏秋冬それぞれ旬な食材を昔から取り入れた食生活が、健康な長寿国の中で大きな役割を果たしているらしい▼いろいろなお菓子やファーストフードなどおいしいものがある。さんあるが、これから年末を迎え新しい年を迎えようとしているが、健康で一年を過ごし、自分へのご褒美としても、是非みなさんも旬な食べ物を目で楽しみ、味わってみてはいかがですか?

サラリーマン川柳 (はつゆきを頭で感じる さびしさよ) (製造日 改ざんしたい 四十路前) (KYを 今日良い子と 訳す親) (乗り越えた 酔った頭が 冴えていく)

サラリーマン川柳 (冬近し あったか料理 コンビニで) (飼犬に 妻の機嫌を 聞いてみる) (好物を 食べては思う 母の顔) (悪口は ちゃんと聞こえる 地獄耳)

「過労死等防止啓発月間」にあたっての「過労死ゼロ」宣言

本年6月に成立した「過労死等防止対策推進法」は、働く者の労働条件の維持・改善及びその権利擁護を活動目的とするわれわれ労働組合にとっても、極めて重い意味を持っている。

同法の施行後はじめてとなる「過労死等防止啓発月間」にあたって、その重みを真摯に受け止め、過労死等の撲滅に向けた取り組み強化の必要性を組織全体で共有するとともに、今後過労死等が起きない健康で安全な職場を維持・実現することを誓い、以下の通りに宣言する。

一、わたしたちの地域・職場からは、過労死等を出させません。

「過労死ゼロ」の職場を実現するため、わたしたちは、長時間労働是正に向けた様々な取り組みを、組織をあげて実施します。

一、過労死等を助長する労働時間規制の緩和には、断固反対します。

2014年11月5日

日本労働組合総連合会新潟県連合会 会長 齋藤 敏明

仕事や暮らしのことで 困ったら… 相談無料 パーソナルサポートセンターへ

困りごと解決プロセス

- 支援を必要としている人に寄り添い、個別的かつ専門的な立場から相談・自立支援を行います。
●地域の各団体・NPOや行政機関とのつなぎ役として、生活者の自立を目指します。



仕事が見つからない

どうやって仕事を見つけたいか、一緒に考えます。職業訓練を受けるという方法もあります。

借金が返せない

無理のない返済計画を立てるお手伝いをします。利息を支払いきていない場合は、法廷の専門家に相談して解決します。

お金がなくて病院にいけない

公的な資金貸付制度などを利用して、病院の費用を工面するお手伝いをします。国民健康保険料の滞り手続も可能です。

その他どんなことでもご相談ください

相談日 毎週月～金曜日(但し祭日は休み) 受付時間 午前9時30分～午後4時30分

長岡パーソナルサポートセンター

〒940-0029 長岡市東蔵王2-2-68 長岡市勤労会館2階

TEL:0258-89-8263

FAX:0258-89-8264

nagaoka-ps@circus.ocn.ne.jp



生活困窮者自立促進支援モデル事業は新潟県、新潟市、長岡市及び上越市から委託して実施しています

ここが問題!

運用について

GPIFの資産構成割合は下図のとおりです。現時点では安全資産といわれる国内債券が60%を占めていますが、政府およびGPIFは、株式にとどまらず、不動産、インフラ(電力発電、ガスパイプライン、鉄道等)投資などのリスク性資産割合を高める方向で議論を進めています。

これはGPIFに限った話ではなく、公務員の年金を管理運用する共済年金も政府から同様の要請を受けています。



ガバナンス(組織運営)について

GPIFには、中期計画および業務方法書の審議、年金積立金の管理運用業務の実施状況の監視等を任務とする「運用委員会」があります。ただし、委員は経済・金融の専門家等の「学識経験者」から厚生労働大臣が任命するしくみとなっています。

GPIFは独立行政法人で、権限・責任が理事長一人に集中しており、保険料拠出者である労働者が参画して運用のあり方を決定するガバナンス体制が構築されていません。

連合はこう考えます!

- 1 専ら被保険者の利益のために、長期的な観点から安全かつ確実な運用を堅持すべきです。そのため、債券運用を中心に元本確保、安定運用を基本とすべきです。
2 不動産投資等リスク性資産割合を高めることは、年金積立金が毀損した場合、法的には大臣に責任があるとはいえ、GPIF等の管理運用主体が責任をとるわけでもなく、結局は被保険者・受給者が被害を被ることになるため、反対です。
3 年金財政上必要な運用利回りを確保することが大前提です。高リスクをとってまで収益の最大化を追求することが求められているわけではありません。
4 債券運用を中心としながらも、現実的に株式での運用が行われており、被保険者の雇用・労働条件の向上や生活の安定、社会的公正の実現に資するためにも、国連責任投資原則に則り、非財務的要素であるESG(環境、社会、コーポレートガバナンス)を考慮すべきです。
5 GPIFについては、年金積立金は被保険者から徴収された保険料の一部であることから、保険料拠出者の意思が確実に反映されるガバナンス体制を構築すべきです。(労働を含むステークホルダーによる合議制機関(理事会)の設置など)。

問い合わせ先 日本労働組合総連合会(連合)生活福祉局 (03)-5295-0523 〒101-0062 東京都千代田区神田鍛冶台3-2-11 jtuc-seikatsu@sv.rengo-net.or.jp

120兆円!! 年金積立金が危ない!!! 年金積立金はだれのもの? 政府とGPIFは、私たちが払い続けている年金保険料の積立金について、国内債券中心から、株式、不動産やインフラ(電力、ガス、鉄道等)投資などリスクの高い運用に舵を切る方向で見直しを進めています。
こんな事実を知ればみんな「不安で寝まな運用がいい」と思うんじゃないかな!
おかしいと思いませんか!?